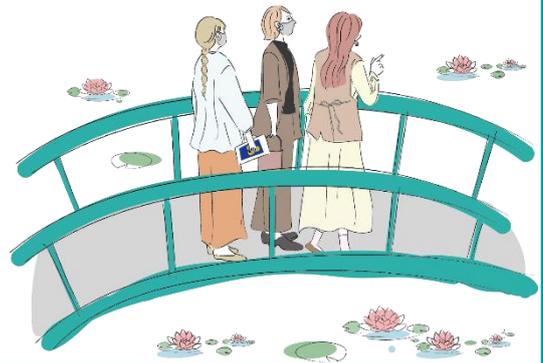


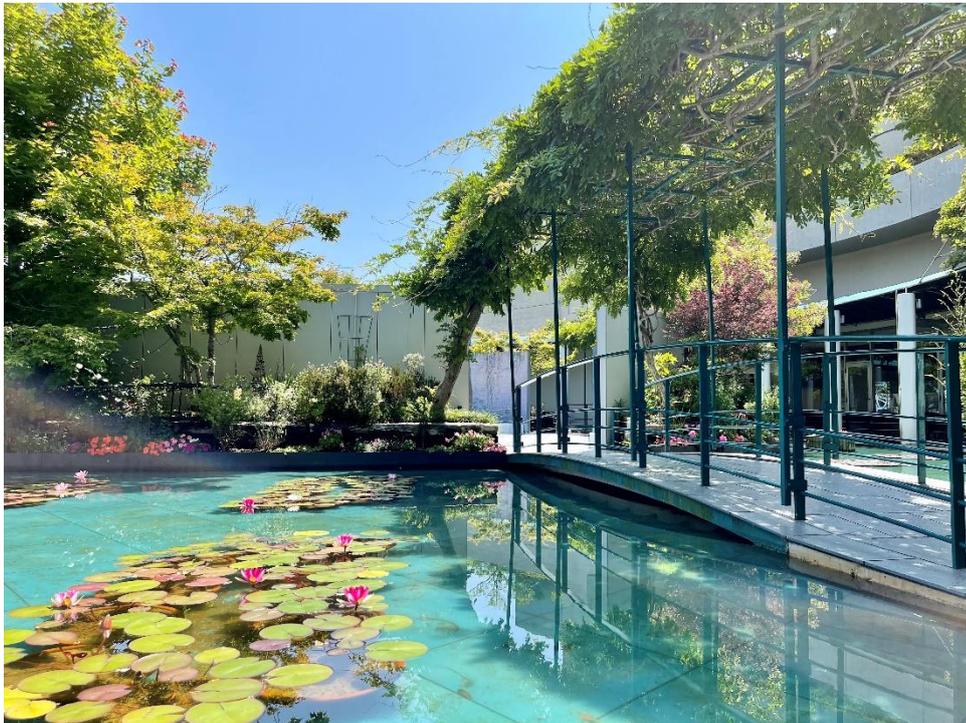
<大塚国際美術館 季節のお知らせ>

6月中旬から9月

モネが愛した 睡蓮が見頃です



大塚国際美術館(徳島県鳴門市)は、印象派の画家クロード・モネが集大成として晩年に描いた「大睡蓮」を、“自然光の下で見てほしい”という彼の願いを実現すべく、陶板の特性を生かして屋外に展示しています。6月中旬から9月は、作品の周りの池にモネが愛した睡蓮が次々と開花し、名画鑑賞とともに楽しめるベストシーズン！時間や天候により印象が変わるモネの傑作と、色とりどりの睡蓮の花を同時にお楽しみください。



▲熱帯性のため、フランスでは咲かず、モネが想像で描いたとされる青い睡蓮も開花します。

▲睡蓮は朝7時ごろから咲き始め、午後2時ごろに少しずつ花を閉じます。開花時期は天候や品種により異なります。



▲屋外展示:モネの「大睡蓮」
(オランジュリー美術館所蔵、フランス・パリ)

モネと睡蓮

モネが絵画制作以外に関心を示したことのひとつが園芸です。43歳の時にフランス北西部の田園地帯ジヴェルニーに移り住み、そこに理想の庭を作り上げ、四季折々の植物を育てました。なかでも睡蓮は彼の作品の主要なモチーフとなり、200点以上描いています。集大成として制作した大作「睡蓮」は、モネの意志によりフランス国家に寄贈され、現在パリのオランジュリー美術館に展示されています。

日本に魅了されたモネ

19世紀後半、ジャポニスム(日本趣味)が流行し、浮世絵にみられる大胆な構図や鮮やかな色づかいは、モネの作風に大きな影響を与えました。

ジヴェルニーにあるモネの自宅には、現在も彼が集めた膨大な浮世絵が飾られ、作品にも描かれた藤棚のある日本風の太鼓橋やしだれ柳もあります。初夏にはショウブやシャクヤクなど、日本趣味の庭園を楽しんだことをうかがわせます。

太鼓橋やしだれ柳と一緒に描かれた睡蓮シリーズ初期の作品
モネ「睡蓮：緑のハーモニー」(オルセー美術館、フランス・パリ)



睡蓮を眺めながら和と洋のコラボスイーツを堪能♪

期間限定 6月1日(水)~8月31日(水)

モネのパフェ“ラ・ジャポネーズ” 1,000円(税込み)

着物や扇子、団扇など、ジャポニスムを描いたモネの傑作からインスピレーションを得たパフェ。

和を感じさせる求肥とみずみずしいフルーツ、シェフ特製のアイスクリームやババロア、紅茶ゼリーなどさまざまな素材が重なり合い、味も食感も最後の一口までお楽しみいただけます。



Café de
Giverny

【販売場所】地下2階 カフェ・ド・ジヴェルニー

【営業時間】10:30~16:00



▲モネ「ラ・ジャポネーズ」(ボストン美術館、アメリカ・ボストン)

大塚国際美術館

大塚グループ創立75周年記念事業として1998年3月に創業の地である徳島県鳴門市に設立した陶板名画美術館。世界26カ国の西洋美術を代表する名画1000余点を陶板で原寸大に再現し展示しています。美術書などで一度は見たことがある名画が一堂に会し、日本に居ながら世界の美術館を体験できます。

【住所】〒772-0053 徳島県鳴門市鳴門町 鳴門公園内

【TEL】088-687-3737 【FAX】088-687-1117

【URL】<https://www.o-museum.or.jp/>

【開館時間】9時30分から17時(入館券の販売は16時まで)

【休館日】月曜日(祝日の場合は翌日)

1月は連続休館あり、その他特別休館あり*8月無休

【入館料】一般3,300円 / 大学生2,200円 / 小中高生550円

*20人以上の団体は10%割引

世界の名画に
出合える美術館



ジスティーナ・ホール

《お問い合わせ先》大塚国際美術館 学芸部 山側

TEL:088-687-3737 FAX:088-687-1117 MAIL:info@o-museum.or.jp

※ご来館に際し、必ずホームページの《安心・安全のための取り組み》をご一読ください